

大学院リーグのデザイン

イノベーティブな発想で社会課題を解決に導いた
社会人博士の成功事例

三重大学大学院 地域イノベーション学研究科
では西村訓弘教授(右写真)が開催しているゼミを
通して

- 学生の意識
- 教員の意識
- 地域の意識
- 大学の意識

を変えることに成功している。

西村ゼミの特徴は PM(Project Management)教員
による **キャリアパス拡充教育** であると考えられる



西村訓弘
Norihiro Nishimura, Ph.D.



発行: 月兎舎



大学院で学んだ経営者たちの企業業績の推移

地域イノベーション学研究科で学んだ主な経営者たち



参考)

三重大学大学院 地域イノベーション学研究科HP、
<https://www.sporr.mie-u.ac.jp/wp-content/uploads/2020/11/01c06709d152369a3fbecbb9b04524c0.pdf>、等

大学院リーグのデザイン

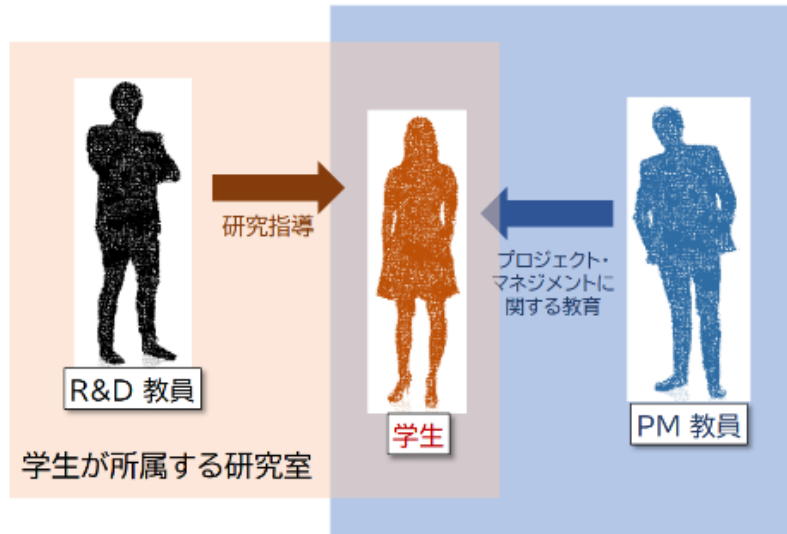
地域イノベーション学研究科が提供する教育の特徴

2種類の教員によるサンドイッチ教育

研究遂行に関する指導

修士論文、博士論文の作成に向けた研究活動を研究指導を行う教員(R&D教員)の研究室に所属して、実施する。研究遂行を通じた論理的思考力を身に付けさせる。

(通常の大学院での教育)



プロジェクト・マネジメントに関する教育

研究指導は行わず、学生が行っている研究内容を題材として、本研究を行う意義(社会的価値)、発展性(社会進歩への寄与)などを議論を通して熟考し、理解を深めることで、自らが主導して研究を考え、実行する基礎力を身に付けさせる。

(本研究科に特徴的な教育)

地域イノベーション学研究科では、研究を指導する教員(R&D教員)とプロジェクトマネジメントを指導する教員(PM教員)が並走して1人の学生を教育する「サンドイッチ型教育」を行っている。

出典：西村訓弘、大学支援フォーラムPEAKS基調講演資料

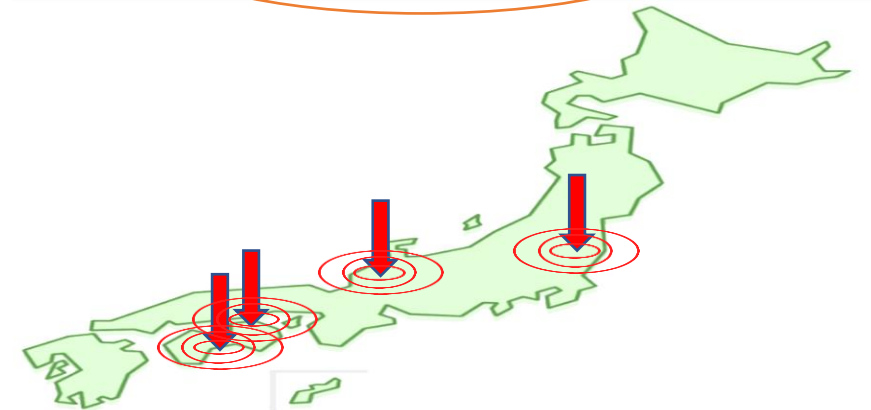
「博士人材が産業界で活躍することの意義-「社長100人博士化計画」の試みから考える-」

サンドイッチ教育による 課題解決型博士人材の育成

実装

展開

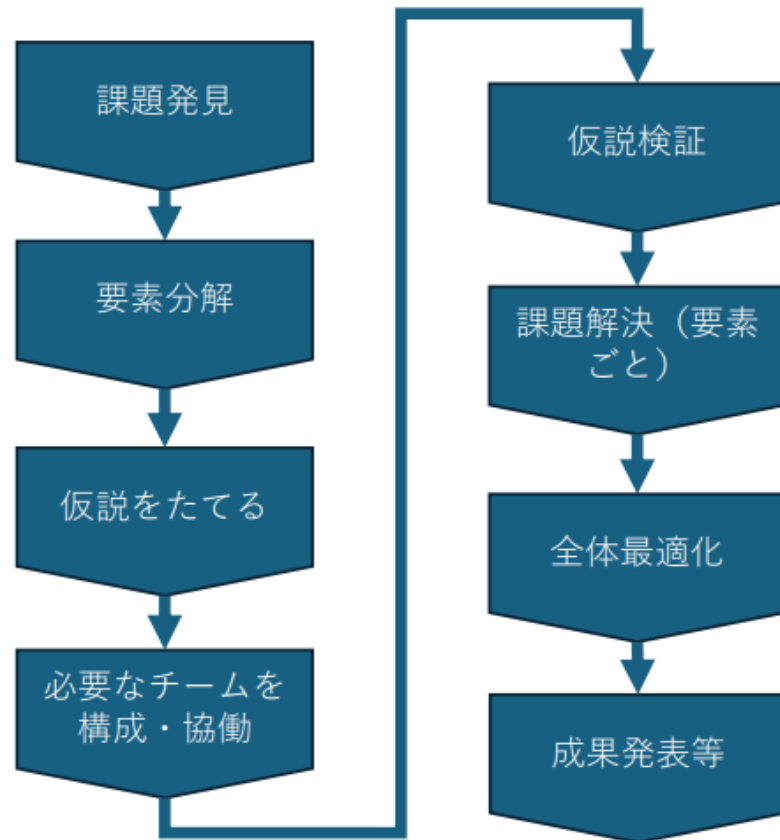
大学院リーグ



大学院リーグのデザイン

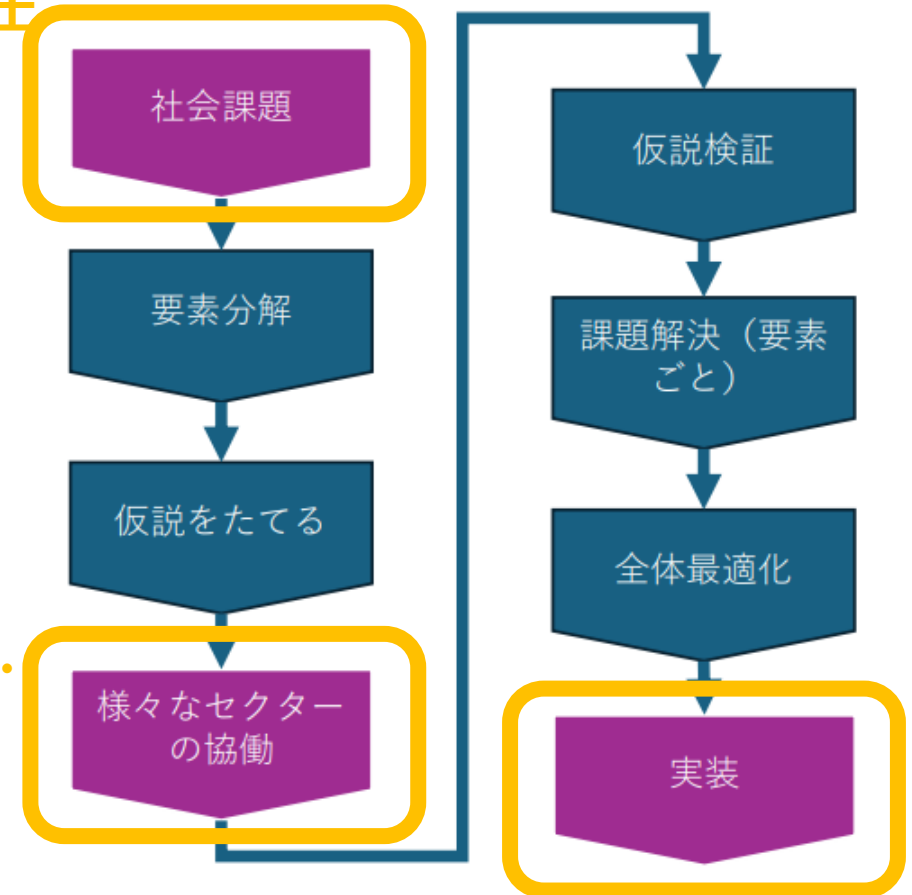
大学院リーグのプロセスで身につく
トランスファラブルスキルの特定

思考検証のプロセス Research & Development



【入口】
社会人博士
の獲得

大学院リーグのプロセス Project Managementの導入



【途中】
PM能力・
Open
mind
の育成

【出口】
社会インパ³外

大学院リーグのデザイン

大学院リーグでの取組

研究大学コンソーシアム

「（提言）これからの博士人材の育成の考え方」より項目使用

<https://www.ruconsortium.jp/asset/d86cea28ff83d7c1060f3645fd33971fd1117ba4.pdf>

R&D教育
(研究活動教育)

各大学が
実施

要素分解

仮説設定

仮説検証

課題解決

社会課題

プレゼン
テーション

ディスカッ
ション

実装

PM教育
(実践教育)

大学院リーグ
協働で実施

様々なセクターの協働

- ・ 大学院リーグに関わる教員・学生・社会人
- ・ 企業・自治体・地域・住民
- ・ 社会の博士人材コミュニティ 等